

教育と産業界のギャップを埋める

Red Hat アカデミー

「ほとんどの高等教育機関では、卒業生を『即戦力』として働ける人材にすることを目指しています。ですから、その多くが Linux 関連のコンテンツをカリキュラムに組み込んでいるのも不思議ではありません。しかし、企業の期待に応えられるようなコースを構築し、それをテクノロジーの進化に合わせて更新し、実践的なラボや演習でサポートすることは複雑で難しく、コストがかかる場合があります。そこで私たちは Red Hat アカデミーを創設しました」

—
Tariq Fazal (タリク・ファザル)
Red Hat
グローバルラーニングサービス
取締役

将来の IT 技術者の育成

Red Hat® アカデミーは、教育機関が常に産業界のニーズに応えられるようにするためのカリキュラムを提供しています。カリキュラムには、Red Hat の開発、サポート、およびフィールド・コンサルティングの各チームのアイデアによって構築されたプラットフォーム、アプリケーションサービス、クラウド・テクノロジーに関する実技形式の授業が含まれています。ディストリビューションに対応する汎用の Linux® コースとは異なり、Red Hat のカリキュラムは、業界をリードするエンタープライズ Linux プラットフォームである Red Hat Enterprise Linux に基づいています。したがって、理論上のフレームワークを学習するのではなく、数千もの企業の導入事例に基づき実践的なスキルを習得できます。

私たちの目標は、できるだけ多くの教育機関が Red Hat アカデミーを利用できるようにすることです。Red Hat は、エンタープライズ・ソフトウェアの将来に向けてテクノロジースキルのギャップを解消することの重要性を認識しており、そのためにすべての人に均等に機会を提供することを推進しています。対象となる組織は、学位、修了証明書、または卒業証書を授与する非営利団体または学校です。

Red Hat アカデミーを選ぶ理由

テクノロジーを理解し、適切なスキルを有する IT プロフェッショナルを見つけるのは困難です。Red Hat アカデミーはシステム管理者と開発者向けに多様なカリキュラムをご用意しています。

米国のフォーチュン 500 企業の **90% 以上**が Red Hat を活用しています。¹

Red Hat トレーニングを追加したことで、**新入社員の有効稼働率が 50% から 77% に向上**しました。²

採用マネージャーの 93%が、オープンソース・スキルに精通した人材を見つけることが困難と報告しています。³

「Red Hat アカデミープログラムの教材は、私が目指すキャリアに関連するものであり、産業界で使えるスキルを習得するために本当に役立ちました。実技形式のラボでは効果的に情報を理解することができ、実際の作業環境に直接応用できるスキルを身に付けられます。RHCSA® (Red Hat 認定システム管理者) の取得を目指す過程で、自分の Linux のスキルに大きな自信が持てるようになり、そのおかげで現在産業界で使用されているテクノロジーへの好奇心が高まり、知識も深まりました」 - テキサス A&M 大学学生アンバサダー Jonathan Saenz 氏

プログラムの特徴

Red Hat アカデミープログラムは、教育機関との提携を通じて Red Hat テクノロジーに関する最高品質のカリキュラムを提供し、受講者が学業やキャリアに関する潜在能力を発揮できるよう支援します。

このプログラムで提供されるものは以下のとおりです。

- ▶ 対象の大学における無料メンバーシップと使いやすいオンラインプログラム登録
- ▶ 作業に関連した最先端の IT スキルを習得できるよう受講者を支援する、業界トップクラスのカリキュラム (Linux、クラウド、アプリケーションサービスなど)

¹ Red Hat 顧客データとフォーチュン 500 リスト、2024 年 9 月。

² Enterprise Strategy Group Economic Validation、[「Analyzing the economic impact of Red Hat Training」](#)、2024 年 1 月 18 日。

³ The Linux Foundation、[「2022 Open source jobs report」](#)、2022 年 6 月。

- ▶ IBM Cybersecurity Courses へのアクセス
- ▶ インストラクターと受講者への Red Hat 認定試験の割引
- ▶ 標準化された教材 (インストラクターがクラスの管理、課題の作成、リソースへのアクセスに利用できる Red Hat Academy Learning Platform という Web ベースのポータルから入手可能)
- ▶ オンラインの受講者用コースウェア、最大 9 カ国語に対応
- ▶ 柔軟に選択できるラボ形式 (教育機関が受講者のニーズに対応できるようサポート)
- ▶ 無料の自習型コースを通じたインストラクター向けトレーニング
- ▶ Red Hat ラーニングコミュニティの他の Red Hat アカデミーの受講者やインストラクターとのつながり
- ▶ Red Hat Academy Talent Network を通じた Red Hat パートナーおよび顧客の求人情報へのアクセス

カリキュラムと認定

Red Hat アカデミーは、さまざまなカリキュラムと認定を提供しています。

コアシステム管理

Red Hat Enterprise Linux のデプロイ、管理、セキュリティ提供について学びます。

- ▶ [Getting Started with Linux Fundamentals \(RH104\)](#)
- ▶ [Red Hat システム管理 I \(RH124\)](#)
- ▶ [Red Hat システム管理 II \(RH134\)](#)
- ▶ [Red Hat Enterprise Linux Automation with Ansible® \(RH294\)](#)

アプリケーション開発

Red Hat JBoss® Enterprise Application Platform によるアプリケーション開発を習得します。

- ▶ [Red Hat Application Development I: Programming in Java™ EE \(AD183\)](#)
- ▶ [Python Programming with Red Hat \(AD141\)](#)

クラウド・コンピューティング

Red Hat OpenShift® と Red Hat OpenStack® Platform によって組織のアジリティをサポートするスキルを学びます。

- ▶ [Red Hat OpenStack Administration I: Core Operations for Domain Operators \(CL110\)](#)
- ▶ [Red Hat OpenShift Administration II: Operating a Production Cluster \(DO180\)](#)
- ▶ [Introduction to OpenShift Applications \(DO101\)](#)
- ▶ [Red Hat OpenShift Development I: Introduction to Containers with Podman \(DO188\)](#)

管理

Red Hat Ansible® Automation Platform を使用してインフラストラクチャを構成し、管理します。

- ▶ [Network Automation with Red Hat Ansible Automation Platform \(DO457\)](#)

IBM Cybersecurity Courses (自習型)

- ▶ [Getting Started with Threat Intelligence and Hunting](#)
- ▶ [Security Operations Center in Practise](#)
- ▶ [Enterprise Security in Practice](#)

Red Hat 認定試験

- ▶ 受講者：50% 割引
- ▶ インストラクター：75% 割引

Red Hat アカデミーを通じて受けられる認定試験：

- ▶ [RHCSA 認定試験 \(EX200\)](#)
- ▶ [RHCE® 認定試験 \(EX294\)](#)
- ▶ [Red Hat 認定エンタープライズ・アプリケーション開発者 \(RHCEAD\) 認定試験 \(EX183\)](#)
- ▶ [Red Hat 認定スペシャリスト試験 - Containers - \(EX188\)](#)
- ▶ [Red Hat 認定スペシャリスト試験 - Ansible Network Automation - \(EX457\)](#)

コースウェアとハンズオンラボ

コースウェア

- ▶ **オンライン (無料)**
 - ▶ 受講者はコースへの登録期間中、コースコンテンツにアクセス可能

ハンズオンラボ

- ▶ **クラウド・ソリューション (無料)**
 - ▶ すべてのコースでオンラインで利用でき、Red Hat Academy Learning Platform を通じてアクセス可能
- ▶ **DIY (無料)**
 - ▶ 自分の機器にラボをダウンロードしてデプロイする
- ▶ **パートナー・ソリューション (有料)**
 - ▶ リモートアクセス・ソリューションが利用できるかどうかは、教育機関の既存のリソースとラボのパートナーシップに基づく

サポート

Red Hat Academy Learning Platform の一般的なサポートおよび技術的なサポート

tecsupport-rha@redhat.com

Red Hat アカデミーの各地域の連絡先

EMEA-RHA-BDM@redhat.com

NAMER-RHA-BDM@redhat.com

APAC-RHA-BDM@redhat.com

LATAM-RHA-BDM@redhat.com

さらに詳しく

Red Hat のアカデミックパートナーのネットワークに参加するには、[所属機関を登録](#)してください。また、プログラムの詳細については [Red Hat アカデミーにお問い合わせ](#)ください。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティング・サービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
#1169243_0524

Copyright © 2024 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat ロゴ、OpenShift、Ansible、JBoss、RHCE、および RHCSA は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。OPENSTACK のロゴおよびワードマークは OpenInfra Foundation の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。